

[やお薬だより]

<http://www.ypa21.or.jp/>

向夏の候 先生方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
行事予定等お送り致します。

7・8月の行事予定

* 平成29年7月9日(日)

理事会 午前11時～ 保健センター4階会議室

例会・従事者研修会 午後1時30分～ プリズムホール

※いつもと会場、開始時間が異なりますのでご注意ください※

1時30分～例会

1時45分～

① 八尾警察より 注意喚起事項 等

② 「残薬調整事業について」 藤井寺保健所 薬事課 副主査 山内祥子氏

③ 「セルフメディケーション時代の服薬指導 整形外科医と鎮痛・湿布剤を考える」

八尾徳洲会総合病院 整形外科 長谷川 潔 先生

協力:ヒサミツ製薬

④ 会員委員会より 薬剤師会各委員会について紹介

⑤ 「在宅医療における特定保険医療材料の処方箋解禁について」

コンバテックジャパン

* 8月の理事会、例会は休会

お知らせ

1. 6月26日に会費(6・7月分)等の引き落としがあります。介護認定審査委員の方は年会費2,000円を一緒に徴収させていただきます。残高確認宜しくお願い致します。

2. 糖尿病 眼合併症予防事業について(※巻末添付資料あり)

昨年実施した事業について概要を添付しています。

添付①-1(眼科標榜医療機関へのアンケート結果)、添付①-2(保険薬局へのアンケート結

果)確認してください。

今回7月～3ヶ月間 カード配布のご協力をお願いします。患者さんが趣旨を理解しやすいようなチラシを作成して一緒に配布する計画です。

7月の従事者研修会の折に カード、チラシを配布する予定です。

3. 大阪薬科大学からのアンケート協力依頼について

大阪薬科大学より、「健康サポート薬局認定についてのアンケート」への協力依頼がありました。大学より直接各薬局へ郵送されますので、同封の返信用封筒にてご回答ください。ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

4. JPALS研修について

八尾市薬剤師会研修会の JPALS コードが使えます。コードを使っていただくことにより、ポートフォリオ記入時に研修会情報を入力する手間が省けます。

*4月9日 学術・地域医療研修会 JPALSコード「27-2017-0017-101」

*5月13日 近畿大学フィジカルアセスメント講習会 JPALSコード「27-2017-0033-101」

*5月28日 学術研修会 JPALSコード「27-2017-0016-101」

*6月11日 学術・在宅医療研修会 JPALSコード「27-2017-0047-101」

5. 書籍の貸し出しについて ※添付②資料参照

大阪大学からの書籍のご寄付などにより、事務所書棚の書籍が充実して参りました。会員の皆様に活用していただけるよう貸し出しをいたしますので、ご希望の方は事務所までお申し出ください。ご氏名などを貸出簿にご記入いただき貸し出しを致します。

書籍一覧を巻末に添付いたします。皆様どうぞご利用ください！

6. スライドライブラリーを作成いたしました！

*これまでお薬教室や薬乱防止教室で使用されたスライド

*健康展のお薬教室で学生さんが作成したスライド など・・・

学薬やお薬講演の際に利用していただけるように、スライド集を用意いたしました。

テーマごとのスライド内容見本ファイルを事務所に用意しております。

各スライド内容についてはファイルをご覧ください、ご確認ください。

データ(CD-R)を貸し出しいたしますので、皆様どうぞご利用ください。

各スライドテーマ等、詳細につきましては、八尾市薬剤師会ホームページにてご確認ください。

7. 第50回日本薬剤師会学術大会（東京）（10月8・9日）参加者募集！

日程：2017年10月8日（日）・9日（月・祝）

場所：東京国際フォーラム・JPタワー ホール&カンファレンス

事前参加登録が始まっております。参加を希望される方は、6月30日（金）までに事務所にお申し込みください。

なお、事前参加登録費(10,000円)の補助につきましては、八尾支部から10万円を充当致します。参加希望者が10名を超える場合には、超過分を希望者数で除した額を各自ご負担いただきます。ご了承の上、お申し込みください。

理事会だより

6月11日(日) 理事会

報告・協議事項

1. 一般社団法人大阪府薬剤師会 八尾支部

* 日薬学術大会発表について

* 日薬学術大会参加希望者 現在12名(発表者3名を含む)

2. 一般社団法人八尾市薬剤師会

- * 譲渡・譲受書様式について 7月1日～運用開始 手数料1回につき300円
- * 八尾市立病院での在宅・居宅の管理指導について 会員さんへFAXにて周知済み
- * FAX通過件数 4月 市立病院 2310 件 徳洲会 3142 件
- * 徳洲会の病院機関誌を、市立病院と同じように薬剤師会薬局へ配布する
- * 徳洲会FAX機 2 台で稼働開始。市立病院は 6 月末頃 1 台になる予定
- * 6月21日開催 健康づくり情報推進委員会 議題について
- * 龍華コミセン祭りについて 8月17日 内容について 掲示用ポスターを学生が作成
- * 健康展について 3グループ担当者決定 第1回準備会 9/10(日)12時～
- * 献血サポート活動 <報告> 6/3 (土)午前:長井先生、午後:中家先生 今後の予定
- * お薬の講演(出前講座)依頼について 現在8件の依頼がきている
- * 5/28 開催委員会報告 内規(案)について承認された
- * 7月13日(木) 八尾市休日急病診療所業務連絡会 タミフル投与日数の件など要望する
- * 休日診療所 分包機の清掃について 市と相談して決めたい
- * 八尾市学校薬剤師委員会 グループメール作成 やお薬便りに間に合わない情報など、メールにてお知らせする(環境検査アンケートなど)
- * 春の親睦行事 6月25日(日)上方落語&昼食会 参加申込者23名
- * 実務実習生と卒業生の意見交換会 6月11日研修終了後午後4時半頃から パネラー12名
- * 府薬のB会員キャンペーンと一緒に7.8.9月の3カ月間B会員キャンペーン実施
- * 近畿大学早期体験学習参加薬局 34 薬局受入れ
- * H30 年度、31 年度 実務実習日程について 健康展への学生参加は厳しい
- * 糖尿病 眼合併症予防事業について 昨年度の事業報告と今年度の事業協力について
- * 大阪薬科大学からのアンケート協力依頼について 協力する
- * 事務所 書類棚 蝶番修理の件

学校薬剤師委員会

1. ダニ・ホルムアルデヒド検査

- ・ダニ:温度 25℃、湿度 75%で最もよく生育します。時期をみて実施して下さい。
- ・ホルムアルデヒド:温度 25℃以上、検査前 5 時間しめきり。
日程が決まりましたら事務所までお知らせ下さい。検査器具に制限がありますので、ご希望に叶わない場合があります。ご了承ください。

2. 平成 29 年度「薬と健康の週間」川柳とポスター原画募集について

募集要項について府薬ホームページに掲載されていますので、担当校に周知お願い申し上げます。

3. 八尾市学校薬剤師委員会グループメールについて

グループメールを作成いたしました。
これを情報共有のツールとして活用していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

4. 学校薬剤師を引き受けてくださる先生を募集しています。

まだまだ、学校薬剤師を引き受けてくださる先生が不足しています。
小学校 幼稚園 中学校の教室の環境検査と「お薬教室」が主な業務です。
一緒に活動に参加していただける先生は、事務所までご連絡下さい。

5. お薬教育については市内全校実施を目指しています。

「薬の正しい使い方、薬物乱用、禁煙等」について引続き出前授業(指導、助言)を行なってください。各学校より連絡が入りましたら事務所まで実施日等ご連絡ください。

授業が終わりましたら当日の内容を報告用紙に書いて提出をお願いいたします。報告用紙は事務所にあります。

*薬物乱用については危険ドラッグなどの問題もあり、学校から依頼が増えています。
資料など事務所にありますので、お薬教育の実施お願い申し上げます。

保育所委員会

1. 大腸菌検査の実施(7月～8月上旬まで)をお願いします。

培養方法:用意された容器(タッパー)にいれて 35℃±2℃の状態です約 36 時間培養。

判定:青色のコロニーが一つでもあれば (+) なければ(-)

報告:指定の報告用紙に結果を記載し 薬剤師会と保育所(園)に速やかに提出して下さい。

タッパーウェアはきれいに洗ってから 保育所等に返して下さい。

注意!! 大腸菌群検査では 実習生(学生)を同伴することはできません。

※例年に引き続き、追加で4カ所の検査を希望される園についてはご対応を宜しくお願い致します。追加4カ所用の検査結果報告書は、各先生方のロッカーに配布いたします。

保険薬局委員会

1. 八尾市立病院院外処方せんでの「在宅患者訪問薬剤管理指導」または「居宅療養指導」の指示について

先日、FAX でご案内いたしました通り、運用が開始されています。

2. 医薬品の薬局間譲渡・譲受について 添付③

7月1日より別紙の通り決定しました。手数料300円/回も追加されましたので、ガイドラインをご熟読の上、厳守していただきますようによろしくお願いします。

ホームページにも様式(ワード版、PDF 版)を載せますのでご利用下さい。

約束処方などの分譲につきましては詳細を検討中です。決定しましたらお知らせいたします。

3. 八尾市立病院院外処方せんについて

(ア)処方日数について・・・91日以上の処方査定されるため、91日以上の処方があった場合、病院に疑義照会してください。

(イ)ラニラピッド錠 0.1mg出荷停止に伴う取扱いについて・・・出荷見込みがたっていないため、病院はラニラピッド錠 0.05mgに処方変更で対応することですので在庫状況により変更をお願いします。

4. 「緩和医療ファーマシューティカルケア研究会・大阪」のご案内 添付④

日時:平成 29 年 8 月 5 日(土) 13:55～17:05

場所:近畿大学会館

プログラム等詳細は添付しています。参加ご希望の方は各自お申し込みください。

地域医療委員会

1. 龍華コミセン祭りについて

薬剤師会からは「お薬の相談」及び ①サプリメント&健康食品 ②・薬物乱用防止啓発活動 ③献血について を行います。

～☆～8/17に お手伝いをしていただける方を募集中！【締切 7/9(日)迄】～☆～

開催日時:H29年 8/17(木) 9:30～16:00(昨年より早く始まります)

☆ 龍華コミセン祭りについて もっと詳しい内容を知りたい方は 薬剤師会にお問い合わせ下さい。担当者(乾・長井)がお答えします。

2. 健康展

H29年 11月 19日(日)10:00～16:00 及び準備の 11/18(土)14:00～16:00 の お手伝いを 6/11 の例会時に募集しました。

11/18(土)⇒10名、11/19(日) 9:30～13:00⇒30名・11/19(日)13:00～17:00⇒30名
お手伝いの人数を確保することが出来ました。(お手伝い者の人数をのべ 70名としています。)

～☆～健康展の発表 展示を企画する「グループ担当者」をご案内します～☆～

R=連絡係り

1グループ「模擬薬局」 R 山下章子(安心堂薬局)

山下章子(安心堂薬局)・岩井待稚子・田村知代(タムタム薬局)・河合律子(ハンナ薬局)・矢野康子(のぞみ薬局北久宝寺店)・山本昌美(龍華薬局)・杉野侑子(プラザ薬局本店)・永尾信輔(ながお大和橋薬局)・森川栄(さくら薬局)

2グループ「健康サポート薬局(かかりつけ薬剤師)」R 酒井真弓(かりん薬局)

酒井真弓(かりん薬局)・入江史江(あんず薬局)・奥本宗男(あすか薬局)・藤倉なお子(サン薬局)・山口友希子(美好橋薬局)・能重忍(ルピナス薬局)・仲由起江(健康堂)・山本昌甫(山本薬局)・神牧昌生(クレヨン薬局)・平井眞佐子・小泉貞志(小泉薬局)・長井富美子(プラザ薬局本店)

3グループ「お薬教室」 R 乾麻衣子(いぬい薬局)

乾麻衣子(いぬい薬局)・篠原裕子(みどり薬局)・萩原寿(プラザ薬局久宝寺店)・山崎高(プラザ薬局太田店)・山村万里子(ヤマムラ薬局)

敬称略

上記グループ担当者は 9/10(12時)・10/15(13時)・11/12(13時) 保健センター4階 会議室に集合してください。

3. 献血サポート活動

<報告> 6/3 (土)

午前: 長井 サポートした人 3名 (血色素量 11.5、12.4、12.1と低値の為)“血液と貧血について”のチラシをもちいて鉄分の吸収を良くする食事の摂り方を説明し“鉄バランス弁当コンテスト”の冊子をお渡しする。

午後: 中家規善(東光第一)サポートした人 5名(血色素量低値 1名・体重 50kg未満 2名 傷あり 1名 歯石取り 1名)

<予定>

7/1 山下理事(AM) ・松倉(ゆうあい薬局)(PM)

8/5 栗原(プラザ)(AM) ・河野理事(PM)

9/2 入江(あんず)(AM) ・豊口副会長(PM)

10月以降は 別に添付しています「2017年度献血サポート実施予定表」添付⑤で確認してください

～献血サポートについて～

午前の方は 10:00～12:00 午後の方は 13:00～16:30

用意するもの: 白衣・「献血サポートファイル」(薬剤師会に置いてあります)

終了後は献血サポート記録表を大阪府赤十字血液センター及び薬剤師会に FAX する。(薬剤師会には出務報告書も同時に提出して下さい。) 最後に「献血サポートファイル」をできるだけはやく薬剤師会に返却して下さい。後日 参加証明書をお渡しします。

4. 研修会

テーマ: 健康サポート薬局伝達講習会

日時: H29 年 10 月 15 日 (日) 学術研修会終了後すぐ (15:30～16:30)

講師: 潮田龍一郎 副会長

5. お薬の講演(出前講座)報告および依頼のおしらせ

<報告> なし

<予定>

①【日時】再掲 H29 年 6 月 21 日(水)14:00～16:00

【依頼者】久宝寺中学校区高齢者あんしんセンター久宝寺愛の郷(地域包括支援センター)

【講演場所】久宝寺愛の郷1階地域交流室 【講師】宋 鉄晩氏(青龍堂薬局)

【内容】お薬の正しい飲み方・副作用について

②【日時】再掲 H29 年 6 月 23 日(金)13:30～15:00

【依頼者】成法中学校区高齢者あんしんセンター長生園(地域包括支援センター)

【講演場所】長生園 【講師】山本昌美氏(龍華薬局)

【内容】健康食品についての正しい知識を薬剤師から学ぶ

③【日時】新規 H29 年 7 月 4 日(火)13:30～15:00

【依頼者】いちょうの会

【講演場所】八尾市立障害者総合福祉センター 【講師】長井理事

【内容】現在飲んでいるくすりについて 副作用 注意点等

～各人(10人)の抗パ剤服用継続における副作用・注意点についての個別指導～

④【日時】新規 H29 年 7 月 13 日(木)14:00～16:00

【依頼者】大正中学校区高齢者あんしんセンターあおぞら(地域包括支援センター)

【講演場所】弥生会館 【講師】乾理事

【内容】身近なお薬について・河内音頭健康体操

⑤【日時】再掲 H29 年 7 月 19 日(水)14:00

【依頼者】大阪介護支援専門協会八尾支部 支部長ハピネス東村博子

【講演場所】サポート八尾 【講師】篠原理事・奥村理事

【内容】介護支援専門員を対象に在宅での薬剤師の役割

ケアマネジャーとの連携 薬の管理と 服薬方法について

⑥【日時】新規 H29 年 7 月 22 日(土)14:00～15:30

【依頼者】亀井中学校区高齢者あんしんセンターホーム太子堂(地域包括支援センター)

【講演場所】ホーム太子堂 【講師】山村監事

【内容】薬と上手に付き合う方法

⑦【日時】新規 H29 年 8 月 1 日(火)13:30～15:00

【依頼者】上之島中学校区高齢者あんしんセンタースローライフ八尾(地域包括支援センター)

【講演場所】スローライフ八尾 【講師】潮田副会長

【内容】お薬手帳の活用方法など

- ⑧【日時】再掲 H29年12月5日(火) 午前10:30～11:30
【依頼者】あけぼの広場 浅井孝男
【講演場所】八尾市八尾木東3-28 あけぼの文化教室 2Fあけぼの広場
【講師】林重臣(マツモトキヨシ薬局)
【内容】予防接種・インフルエンザ・薬の正しい飲み方について
【対象】0～3才児とその保護者(10組くらい)

6. 恒例の薬剤師会が主催とする“**献血呼びかけ**”実施日が決定しました。
日時:H29年10月21日(土) 10:00～16:30 場所:アリオ八尾(又は近鉄八尾駅前)
呼びかけをしていただける方を募集しています!

休日診療委員会

1. 5月28日の休日診療委員会報告

内規の改定の承認
休日診療の従事者を増やす方法を検討する
タミフルの投薬日数の検討を休日診療運営委員会に提案する
タミフルDS新生児・乳児の投与量の確認
緊急増員の対応と連絡先の確認

2. 休日診療に従事して下さる先生を募集しています。

土曜日 午後4時30分～9時
日曜日 午前9時30分～午後4時 / 午後4時30分～9時
お盆(8月14日～16日)
※年末年始(12月30日～1月4日)
順番制で従事しています。(※年末年始は希望制です)
一緒に活動に参加していただける先生は、事務所までご連絡下さい。
土曜日 日曜日のみ従事の先生はできるだけ両日勤務を検討してください。

学術委員会

1. 7月9日(日) 14:20～15:30 プリズムホール会議室1 ～従事者研修会を兼ねております。
「セルフメディケーション時代 服薬指導～整形外科医と鎮痛・湿布剤を考える」
八尾徳洲会総合病院 整形外科 長谷川 潔先生(ヒサミツ製薬協力)
2. 7月15日(土) 15:45～18:00 大阪国際交流センター 2階小ホール
第7回薬薬連携協議会 研修会

学生実務実習委員会

1. 近畿大学早期体験学習 34薬局が参加協力に応じていただきました。
ありがとうございます。ご指導よろしくお願いたします。
2. 平成30年の実習期間予定
第Ⅰ期 5/7～7/22 第Ⅱ期 8/6～10/21 第Ⅲ期 11/5～1/27

3. 6月21日に健康づくり情報委員会の後意見交換会を予定しております。
担当以外の先生方もよろしければご参加くださいませ
4. 連携対象の実習生は、6/30 八尾徳洲会 SGD 7/9 従事者研修会 7/15 薬業連携協議会 研修会 に参加してください。
また、8週目 11週目ルーブリック評価と 決められた項目のレポート提出 指導箋作りの方
よろしくお願いたします。
薬剤師会による7/19 ケアマネージャーさま向け講演会の出席も可能です。参加される場合は
ご連絡くださいませ。
5. 実務実習指導薬剤師のワークショップへの推薦を募集しております。
ご希望の方は事務局までお知らせください(実務経験 5年以上、そのうち薬局または病院での
実務年数が継続して3年以上の先生対象)

在宅医療委員会

1. 研修会

7月9日(日) 15:30～

「在宅医療における特定保険医療材料の処方箋解禁について」
コンバテックジャパン株式会社

9月10日(日) 13:00～17:00

褥瘡ケアセミナー 愛生館小林記念病院 古田 勝経先生

※詳細・参加申込書 添付⑥

人数に限りがありますので、早めにお申し込みください!

2. 外部研修会

Furuta Methods 褥瘡ケアセミナー

日時 2017年8月19日 9:30 開場 10:00 開始～16:30 終了

会場:ビジョンセンター横浜 参加費 13000円

※詳細別紙 添付⑦

会員文化委員会

1. 府薬・八尾薬合同 B 会員キャンペーンを実施致します。

キャンペーン期間：7月8月9月の3ヶ月間

特典：府薬入会で府薬入会金1万円免除になります。

八尾薬入会で入会金1万円免除と、入会日より3ヶ月間月会費1700円免除になります。

ご近所、職場等の薬剤師で興味のある方おられましたらお声かけよろしくお願致します。

2. 新規会員募集

(一社)八尾市薬剤師会への新規入会希望者を募っています。

ご近所・職場等の薬剤師で薬剤師会の学校薬剤師や休日診療等の地域での活動や研修、入会者特典等に興味を持っている方、一度話だけでも聞いてみたいという方がいらっしゃいましたら事務局まで連絡お願いたします。

防災委員会

本年度は厚生労働科学研究作成の「薬剤師のための災害対策マニュアル」(www.nichiyaku.or.jp/saigai2016/files/sr20160415.pdf)の内容の御案内しながら我々が地域活動に参加している薬剤師として「何が」できるかを考え、会員そして地域の皆様と防災情報を共有し意識を高めてゆきたいと考えております。

1.地域の薬局が平時において直ちにに取り組むべき事項

1-3 医薬品の確保

- 医療用医薬品の備蓄・管理
- 最低限 3 日分程度の在庫を持つように努める
- その他、薬剤関連資材についても、同様の備蓄に努める(資料 3)
- 一般用医薬品や衛生材料等についても、災害時の地域のニーズに応じるため、十分な量を備蓄するように努める

(資料 3) 災害時携行用薬剤関連資材リスト

※調剤用物品: 簡易薬品棚(薬を保管するための間仕切り付きケース等)・処方箋・災害用緊急薬袋・投薬ビン・軟膏ツボ・軟膏ベラ・軟膏板・秤・スパーテル・乳鉢・乳棒・メートグラス・スポイト・薬包紙・お薬手帳・ビニール袋(チャック式ビニール袋を含む)・調剤印

※事務用品: マジック・ボールペン・輪ゴム・セロハンテープ・ハサミ・電卓・ホチキス・ノート・メモ用紙(付箋、A4用紙など)・ラベルシール・ノートパソコン・USBメモリ

※書籍: 医薬品鑑別辞典等(薬剤識別のための資料(写真入、病名別))・医薬品集(医療用・一般用)・治療指針

※その他: アウトドア用冷蔵庫(電気不用タイプもあり)またはクーラーボックス及び瞬間冷却剤等・リュックサック(巡回診療用)

会員の異動

[入 会] 準会員 高木祐美子先生(カイセイ薬局)

[変 更] 管理薬剤師変更 田中直也→大西敦子(アイン薬局)

[退 会] 正会員 吉原珠美(信貴薬局) 薬局廃業
準会員 羽瀨裕干(プラザ薬局志紀店)

連絡事項

【講演会の講師を募集しています】

会員皆様には是非講演会講師をお願いしたいと思います。地域の方とお話をする機会も出来ます。ちょっとお話をしてみようと思われる方は事務所までご連絡ください。ご協力宜しくお願い致します。

眼科標榜医療機関へのアンケートより

アンケートの送付及びカードの回収は、管内で眼科を標榜する全ての病院及び診療所27機関のうち、外来診療を行う25機関（病院3、診療所22）を対象として実施した。

平成28年11月14日～平成29年2月28日までに管内眼科標榜医療機関25機関にて回収したカードと、ポスター掲示及びカードの啓発取組みについてアンケートを実施、3月に郵送にて回答を得た。

結果

眼科医療機関については、24機関（96.0%）の管内眼科標榜医療機関からアンケート又はカード送付のいずれかの協力を得られ、アンケートは23機関（92.0%）、カードは20機関（80.0%）から回収できた。

眼科受診した患者は、カードを回収できた466人とカードを回収できなかった60人の合計526人であった。

眼科受診連絡カード

- ・カードは20機関から466枚（病院3機関35枚、診療所17機関431枚）回収できた。
- ・患者又は薬剤師等によるHbA1cの記載があったカードは327枚（70.2%）、グリコアルブミンの記載があったカードは2枚であった。
- ・カードへ記載のあったHbA1cの平均値は6.9%で、最小値4.9%、最大値18.3%だった。HbA1cの分布ではHbA1c6.5%未満が109人（33.3%）と多く、次いで6.5%以上7.0%未満が106人（32.4%）、7.0%以上は112人（34.3%）であった。

記載があったHbA1c値の人数（N=327）

HbA1c	人数	%
～6.5%未満	109	33.3
6.5%以上～7.0%未満	106	32.4
7.0%以上～7.5%未満	51	15.6
7.5%以上～8.0%未満	27	8.3
8.0%以上～	34	10.4
合計	327	100

眼科標榜医療機関へのアンケート結果（23機関）

眼科受診連絡カードをきっかけに初診となった患者はいたか。

初診となった患者が「いる」15機関（65.2%）、「いない」6機関（26.1%）、「未記載」2機関（8.7%）であった。「いる」と回答した機関のうち、初診患者数を記載していたのは13機関で合計88人（医療機関における最小患者数1人、最大患者数41人）であり、2機関は人数未記載であった。

既に眼科受診している患者で、今回のカード持参で糖尿病だとわかったケースはいるか。

カード持参で糖尿病だとわかったケースが「いる」13機関（56.5%）、「いない」10機関（43.5%）であった。「いる」と回答した機関のうち、眼科医が糖尿病だと把握した患者数を記載していたのは9機関で合計30人（医療機関における患者数の最小把握数1人、最大把握数10人）であり、4機関は人数未記載であった。

カード持参者にどのような対応をしたか。(複数回答可)

質問項目へ記載があったのは21機関で、2機関は未記載であった。カードを持参し受診した患者への対応を記載した21機関すべてが眼底検査を実施していた。受診患者は眼科医から「定期受診(治療)」「1年後の受診(眼合併症の経過確認のため)」「他疾患精査」のいずれかの指示を受けていた。

カード持参者への対応 (複数回答可)(N=23)

	質問項目	機関数	%
対応者の 記載あり (21機関)	眼底検査	21	100
	薬の処方	5	23.8
	定期受診(治療)	17	81.0
	1年後の受診(眼合併症の経過確認のため)	11	52.4
	他疾患精査	2	9.5
	病院紹介	2	9.5
	対応終了	0	0
未記載		2	

保険薬局へのアンケートより

カード配付枚数

- ・83ヶ所が合計4833枚を配付した。
- ・最大配付数は729枚

表2-1 1機関におけるカード配付枚数

枚数	機関数	%
0	1	1.2
1～9	14	16.9
10～49	34	41.0
50～99	20	24.1
100～199	8	9.6
200～399	3	3.6
400以上	1	1.2
未記載	2	2.4
合計	83	100

説明・配付で眼科受診について患者に伝わったと感じる

表2-2-⑤ 説明・配付で眼科受診について患者に伝わったと (N=82)

	八尾市		柏原市		合計	
	数	%	数	%	数	%
あり	22	33.3	3	18.8	25	30.5
ややあり	32	48.5	11	68.8	43	52.4
あまりなし	7	10.6	2	12.5	9	11.0
なし	2	3.0	0	0.0	2	2.4
未記載	3	4.5	0	0.0	3	3.7
合計	66	100	16	100	82	100

説明・配付により何%の患者が眼科受診すると感じましたか

表2-2-⑥ 説明・配付により何%の患者が眼科受診をすると感じたか

	数	%
0%	1	1.2
1～9%	1	1.2
10～29%	28	34.1
30～49%	12	14.6
50～69%	16	19.5
70%～	16	19.5
わからない	3	3.7
未記載	5	6.1
合計	82	100

患者から受けた質問

カードについて

- ・カードを見せると(初回受診)は無料になるのか。(他2件)
- ・眼科でカードを提出したが受け取ってもらえなかった。(他2件)
- ・どこの地域の眼科でもいいのか。八尾市以外でもカードがわかるか。(他3件)
- ・八尾市民ではなく、大阪市民だもらっていいのか。

- ・総合病院はどのタイミング(受付・外来受付・ドクター)で渡せばよいのか。
- ・定期受診しているが、カードを提出しないとイケないか。(他4件)
- ・定期受診が数カ月先だが眼科にカードを渡してよいか(数名質問を受けた)。(他1件)
- ・カードを眼科へもっていった後どうなるのか。
- ・八尾市が何かしてくれるのかと怒った患者がいた。

疾患について

- ・血糖値を測定して欲しいがどうしたらよいのか。
- ・血糖値があがるとなぜダメなのか。
- ・検査値等
- ・どんな感じで悪くなるのか。
- ・血液検査の見方が分からない。
- ・糖尿病合併症について。
- ・糖尿病について生活習慣の改善方法。
- ・糖尿病性網膜症について知らなかった。
- ・糖尿病と失明の因果関係について。

眼科受診について

- ・どこの眼科でもいいのか。(他2件)
- ・いつ受診したらいいの。
- ・眼科受診が必要あるのか。(他2件)
- ・眼底検査は受診している内科で受けているが、眼科を受診した方が良いのか。
- ・健診で眼も診てもらっている(半日ドックで眼底検査をした)のに眼科に行く必要があるのか。(他1件)
- ・医師からの指示か。
- ・血糖値が安定しているから、いかなくて良いと思っていた。
- ・内科医から眼科受診を言われていないからいらないと拒否が多数いた。
- ・眼科に通院しているが糖尿病であることを伝えないとイケないか(数名から質問)。
- ・初期(軽度)の糖尿病でも眼科を受診すべきか。
- ・目は悪くないのに眼科を受診しないとイケないのか。
- ・眼科に行くのが面倒。
- ・定期受診について。
- ・コントロールよくあまり糖尿病を意識していない方から何故眼科受診が必要かと言われた。

その他

- ・以前は眼科を受診していたが、白内障のオペだけをすすめられ、受診するのが嫌になった等の意見があった。
- ・眼科が非常に待ち時間が長いので(混んでいる)予約制はないか。

その他、カード配付に関する事業について意見、感想、改善点等

- ・手配りのカードだけでは説明が不足する。ポスターを縮小コピーしたものを一緒につけて渡した。
- ・HbA1cの値だけでは情報量が少ないと感じた。(他2件)
- ・大きさをカードに限定せず、A6サイズで作成して順序だてて内容を説明できるような内容にしてほしい。
- ・カードの意味がわかりにくい。かなり説明しないとわかってくれない。
- ・もう少し、視力の失った人の20%が糖尿病患者だとPRすべきと思う。
- ・カードの説明をする負担が◎。(他1件)
- ・薬局でのカード配付時に時間がかかりすぎる。
- ・眼科から何枚かカードが戻ってきたので、一部説明が伝わっていない。
- ・カードが無料券ではないと説明するのが面倒。
- ・勧奨だが強制と思う患者がいて対応に困った。
- ・診察時に医師から渡される方が眼科受診率はupするように思う。
- ・医師が配付すべき。
- ・糖尿病専門の病院に通院している患者はすでに眼科受診をしており、意味の分かっている方が多数だった。それ以外に通院している人は眼科受診していない方がほとんどだった。このあたりからも受診勧奨ができればより予防につながるのではないか。
- ・以前から糖尿病患者へ内服説明に眼科受診も確認していたが、カードを渡し実際どれくらい受診したかある程度保健所で確認できるので勧奨できているかどうかわかるだろう。ただ、年1~2回の方はカードの存在を忘れ眼科に持って行かず、正しいデータが出るか疑問。大変かもしれないが、各眼科でどれくらいの糖尿病患者がいるか、薬局と院内処方医療機関でどれくらいの糖尿病患者がいるか把握してから、対策を考えてもいいのかもしれないと思った。
- ・すでに眼科受診している人が多く、カードがいらないと言われた。
- ・既に眼科を受診している方も割と多くいた。(他6件)
- ・9割以上の方がすでに眼科受診をしているとの回答だった。
- ・近隣の医師が眼科受診を勧奨している為、定期的を受診している方が思ったよりいた。10名程。
- ・眼科受診の啓発は服薬指導でも活用する事が出来たので、良かった。(他1件)
- ・薬剤師でも糖尿病性網膜症について関心が低い方もいると思うので、薬剤師に対しての啓発としても良かった。
- ・眼科受診しなければならないとわかっていながら受診できていない患者がたくさんいた事に薬局も勉強になった。
- ・総合病院や専門医からの処方が多く、眼科を定期受診する意識のある患者ばかりだった。(他1件)
- ・既に眼科受診はしているが、今回のカード配付で改めて定期受診の必要性を認識してもらえた。
- ・説明を理解してくれた。
- ・普段から疾患により受診啓発をしており、既に受診している方が多く、あまりカード配付の必要性が感じられなかった。
- ・問3の「説明・配付により何%の患者が眼科受診すると感じましたか」でもともと定期的に眼科受診の方ばかりで、啓発という意味ではあまり効果がなかった。

- ・眼科受診に対して必要性を理解したと思うが、カード配付後2回目以降に来局した患者に確認をしたから「眼科で渡すのを忘れた」「カードをもらった覚えがない」と言われた。「渡してきたよ」と言った患者もいた。
- ・今後も必要と思うので協力・継続します(大事)。(他5件)
- ・今後も継続して眼科受診を勧奨していく必要がある。
- ・問3「配付」「薬局名・日付等記入」「カードの説明」で薬局の負担は感じるが、この事業を一時的にするのではなく、継続する方が効果があると思う。
- ・40代、50代の若い患者は眼科受診率が低いので、今回のカードは糖尿病合併症のよい啓発活動だった。
- ・糖尿病網膜症で視力の低下や失明のリスクがある事を改めて知った患者もいたので、今後も続けていく事は大事だと思う。
- ・カードの配付はよく忘れたが、ポスター掲示は続けて啓発していく。
- ・いろんな所にポスターを掲示していけばよいと思う。
- ・患者の関心度を上げるため継続で配付すればよいと考える。
- ・眼科受診している方もHbA1cは医師には伝えていないので、このカードは有効だと思った。
- ・一般の診療所から糖尿病薬を処方され、眼科は白内障などで受診しているのに、眼科医師には糖尿病であることを伝えていなかった。
- ・眼科受診していない方も、受診の必要性を理解してくれた。
- ・カードの説明をすると関心をもっていたが、年末や年始は忙しいからと言う方が多かったので、実際は受診してくれるかなと疑問に思った。
- ・今回の事業に参加したことで、多くの患者へ合併症について指導する事が出来た。
- ・既に眼科にかかっている。心配させた。知っている。等
- ・高齢の方には理解するのが難しいと感じた。
- ・可能な方にはHbA1cの値を薬局で記入した。
- ・あまり症例がなくカードを配る機会が少なかった。
- ・処方箋のスペンが長い方ばかりで、期間内に来られた該当者は記載人数のみとなった。選定したわけではありません。
- ・外来の忙しい時期で、外来が日々あふれていて、あまり対応できなかった。
- ・自分は血糖が高いだけで、手足のしびれもないし目は見えているので大丈夫だと思っている患者が多かった。
- ・特定健診で視力検査があるので問題ないと思っている患者も多く、カードを渡しながら声をかけることで眼科受診へつながる一つのきっかけになったと思う。
- ・今回をきっかけに眼科受診された方も数名いた。(他1件)
- ・眼科通院している人が医師と話しをする話題になったらしい。
- ・糖尿病で眼科定期受診のある患者にはカードは必要ない(説明しにくい)と思う。(他1件)
- ・眼科定期受診のある・なしのチェック欄がある方が分かりやすい。
- ・カードを渡して説明するのに時間を要したので、カードがどの様に必要で何に使うかの説明書をつけてもらえればよかった。

書籍 一覧

2017.6現在

書籍 番号	書籍名	出版社
1	健康食品・サプリメント『成分』のすべて2017	同文書院
2	ドラッグストアQ&A	薬事日報社
3	ドラッグストアQ&A ②	薬事日報社
4	ジェネリック医薬品って何？	学研
5	薬の影響を考える臨床検査値ハンドブック	じほう
6	在宅医療Q&A	じほう
7	薬剤師のひみつ	学研
8	薬剤師のひみつ	学研
9	よくある気になるその症状	じほう
10	検査値×処方箋の読み方	じほう
11	今日の小児治療指針	医学書院
12	在宅リハビリテーション栄養	医歯薬出版
13	高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015	日本老年医学会
14	高齢者ケア薬剤管理マニュアル ADLと薬剤	薬事日報社
15	シックハウス症候群に関する相談と対策マニュアル	日本公衆衛生協会
16	介護保険とケアマネジャー	日本看護協会出版会
17	アルゴリズムで考える薬剤師の臨床判断	南山堂
18	早くきれいに褥瘡を治す「外用剤」の使い方	照林社
19	在宅褥瘡予防・治療ガイドブック	照林社
20	薬がみえる①	メディックメディア
21	薬がみえる②	メディックメディア
22	薬がみえる③	メディックメディア
23	薬剤 新・国試がわかる本2017 91～100回	医学評論社
24	薬局で使える実践薬学	日経BP社
25	今日の診療のためにガイドライン外来診療	日経メディカル開発
26	重篤副作用疾患別対応マニュアル 第1集	JAPIC
27	重篤副作用疾患別対応マニュアル 第2集	JAPIC
28	医療用医薬品集2016	JAPIC
29	一般用医薬品集2016	JAPIC
30	今日の治療薬2017 解説と便覧	南江堂
31	今日の治療指針 私はこう治療している	医学書院
32	薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト2010年度	じほう
33	薬学生のための病院・薬局実務実習テキスト2011年度	じほう
34	学校と学校薬剤師 2011	薬事日報社
35	「学校環境衛生基準」解説	薬事日報社
36	薬局製剤業務指針 第6版	薬事日報社
37	薬局実務実習指導パーフェクトマニュアル第3版	日経BP社

会員各位

八尾市薬剤師会

薬局間における医療用医薬品の譲受・譲渡に関するガイドラインの補足

◀ 手 順 ▶

(1) 譲受を希望する薬局は譲渡・譲受下記4項目を記載し、譲渡される薬局へ FAX を送る

- ① 譲渡譲受年月日
- ② 譲受薬局名・許可番号・所在地・電話番号・譲受人氏名 すべて
- ③ 譲受される医薬品名・規格・数量・薬価・小計金額・分譲金額・合計金額
- ④ 領収書の自薬局名・金額・年月日

(2) 譲渡する薬局は譲渡・譲受下記3項目を記載し、1部コピーをとり、原本は譲渡する薬局で保管し、もう1部は医薬品と共に譲受する薬局へ渡す。

- A** 譲渡薬局名・所在地・電話番号・窓口対応者
- B** 譲渡する医薬品の製造販売業者名・製造番号・記号・使用期限
- C** 領収書の発行主と領収印

(3) 譲受した薬局は譲渡・譲受書をもとに容器又は医薬品に被包するための文書（別添）を作成し、譲受した医薬品に付帯する。（毒薬・劇薬の場合は表記が必要）

* 譲渡・譲受書は共に3年間保存

* 初回のみ 譲受を受ける薬局は薬局開設許可証（写）の提供が必要

* 手数料300円の取り決めとなります

医療用医薬品 譲渡・譲受 書 「調剤専用」

譲渡譲受年月日	
譲渡薬局名	
所在地	
電話番号	
窓口対応者	

譲受薬局名	
許可番号	A 号
所在地	
電話番号	
譲受人氏名	

医薬品名・規格	製造販売 業者名	数量	製造番号・記号 使用期限	薬価	小計金額	分譲価格 10円単位切り上げ	備考 (該当するものに○印)
							向 毒 劇 要処方 習慣性 日局
							向 毒 劇 要処方 習慣性 日局
							向 毒 劇 要処方 習慣性 日局
							向 毒 劇 要処方 習慣性 日局

【注意】記載の日から3年間保存すること。

手数料	300円
合計金額	

領 収 書

様

金額(税込)

也

但 医薬品代として

年 月 日 上記正に領収いたしました

発行主

調剤専用

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

劇薬

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

毒薬

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

劇薬

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

毒薬

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

劇薬

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

毒薬

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

劇薬

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

調剤専用

毒薬

薬局名		分割販売を行う者の氏名又は名称※1	
薬局所在地			
医薬品名・規格数量			
製造番号・記号		使用期限	
製造販売業者・住所※2			
規制区分等 #該当箇所に○印	㊟ 要処方 習慣性 日局		

※1 個人の場合は個人名、法人の場合は法人名 ※2 略名表記の場合は住所不要

緩和医療ファーマシューティカルケア研究会・大阪（第1回例会）

本会は、緩和医療に関し、実地薬剤師の知識向上、連携基盤の構築を促進し、在宅医療の推進を目的に、2017年3月4日から活動を開始しています。特に、病院薬剤師と保険薬局薬剤師の連携を通じ、市民から薬剤師として求められる責務を果たしたいと考えています。例会は、キャリアアップセミナー、パネル討論等の内容で開催し、全員参加型の例会運営をいたします。参加者の皆様にとって得るものは必ずある例会ですので、緩和医療に実際関わられています薬剤師、緩和医療に興味ある先生は、奮ってご参加下さいませようお願い申し上げます。

近畿大学医学部附属病院 薬剤部 川口 明範

日時：2017年 8月 5日(土) 13:55～17:05 (13:30 開場)

場所：近畿大学会館

大阪市中央区日本橋 1-8-17 TEL (06) 6213-0501

最寄駅：地下鉄千日前線 / 堺筋線 / 近鉄難波線・奈良線 「日本橋駅6番出口」徒歩3分

参加者：がん医療・緩和医療に関心のある薬学生、薬剤師ならびに医療関係者

参加費：無料

参加方法：事前に下記のアドレスに施設名、所属、氏名をご連絡ください。

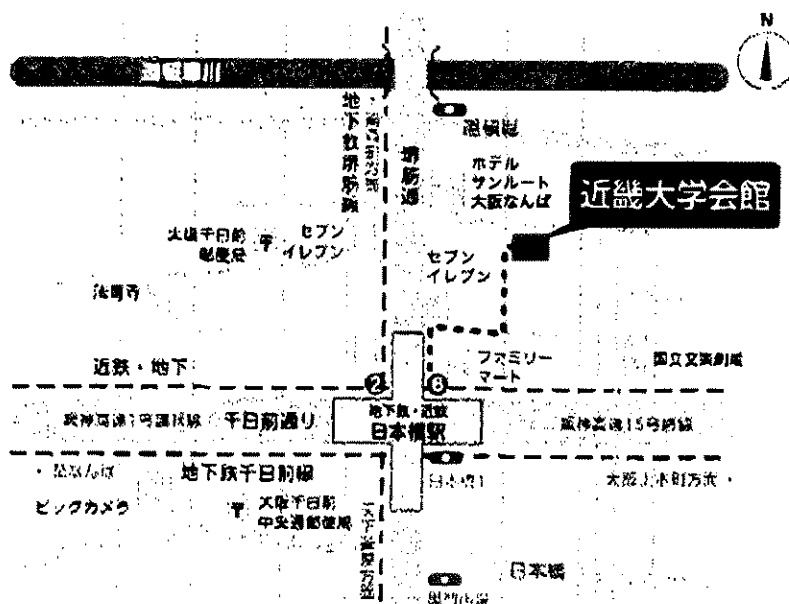
hajime.asano@sayama.med.kindai.ac.jp

(件名は、緩和でお願いします)

(例、〇〇病院薬剤科〇〇花子 〇〇調剤薬局〇〇太郎 8月5日研究会参加希望)

照会先：ご不明な点は、

浅野（近畿大学医学部附属病院薬剤部）まで、メール(上記アドレス)でお問合せ下さい。



プログラム (敬称略)

総合司会 川口 明範 (近畿大学医学部附属病院 薬剤部)

「開会挨拶」(13:55~14:00)

川口 明範 (近畿大学医学部附属病院 薬剤部)

第Ⅰ部 キャリアアップセミナー(14:00~15:00) 20分発表、10分質疑

座長 三輪 芳弘 (大阪大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長)

天野 富美夫 (大阪薬科大学 生体防御学研究室 教授)

1 「～宮部先生とご相談～」(20分)

宮部 貴識 (国立病院機構 刀根山病院 薬剤科 副薬剤科長)

2 「麻薬依存とケミカルコーピング」(20分)

羽多野 裕 (近畿大学医学部附属病院 心療内科・緩和ケア科)

第Ⅱ部 パネルディスカッション(15:10~16:00)

「オピオイド服薬指導の実際と問題点」

モデレータ 川口 明範 (近畿大学医学部附属病院 薬剤部)

吉本 宏一 (柏原市薬剤師会 会長)

パネリスト:(各プレゼン 10分、30分討論)

「病院でのオピオイド服薬指導の実際と問題点(仮) パネリストの先生とご相談」

原 伸輔 (大阪大学医学部附属病院 薬剤部)

「薬局でのオピオイド使用の実際と問題点」

山本 新一郎 (岸和田市 山本保健薬局)

第Ⅲ部 ワークショップ(16:00~17:00)

テーマ「第1回 緩和医療連携における問題点とその解決策」

モデレータ 池田 行宏 (近畿大学医学部附属病院 安全衛生管理センター)

「閉会挨拶」(17:00~17:05)

宮部 貴識 (国立病院機構 刀根山病院 薬剤科 副薬剤科長)

2017年度献血サポート実施予定		場所:近鉄八尾駅前		
NO	実施日	担当者		
		午前10:00~12:00	午後13:00~16:30	
1	平成29年4月1日(土)	篠原 裕子	乾麻衣子	定期開催
2	平成29年5月6日(土)	潮田龍一郎	藤倉 なお子	定期開催
3	平成29年6月3日(土)	長井富美子	中家規善/東光第一	定期開催
4	平成29年7月1日(土)	山下章子	松倉由樹	夏のキャンペーン・総会
5	平成29年8月5日(土)	栗原真希	河野 正宏	定期開催
6	平成29年9月2日(土)	入江史江/あんず	豊口雅子	定期開催
7	平成29年10月14日(土)	中橋大輔/サエラ	平田健二	※10月第一土曜日 みどり課 秋の緑化啓発のため第二土曜
8	平成29年11月4日(土)	小西滋子	山田寧子/ふじ	定期開催
9	平成29年12月2日(土)	奥村隆司	勝山千男	冬のキャンペーン
10	平成30年1月6日(土)	木村 玲子	越智夕貴子	定期開催
11	平成30年2月3日(土)	矢野康子	石田敏恵	定期開催
12	平成30年3月3日(土)	長井富美子	乾麻衣子	定期開催

◎12回すべて 女性団体連合会が主催です 注)上記を含めて、八尾市で2017年度に開催予定の献血総数は50回です

◎都合のつかないときは 各自で交代していただきますよう よろしくお願ひします。
2回 入っていただく先生もいますが ご協力の程よろしくお願ひ致します。

献血サポート担当代表 長井・乾

会員各位

八尾市薬剤師会 会長 中野道雄
在宅医療委員長 奥村隆司

在宅医療委員会研修会のご案内

平素より、会務運営にご理解、ご協力をいただき有難うございます。

この度、毎月行っております八尾市薬剤師会研修会の9月度分として、下記の通り在宅医療研修会を開催することとなりましたのでご案内いたします。なお、人数に制限がございますのでご希望の方は6月30日までにFAXにて薬剤師会事務局へお申込みいただきますようお願いいたします。定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

記

日時 : 平成29年9月10日(日) 午後1時～5時
場所 : 八尾市生涯学習センター「かがやき」4階 大研修室
演題 : 「Furuta Methods 褥瘡ケアセミナー」
内容 : 褥瘡の講義
浅い褥瘡に対するケア演習
深い褥瘡に対するケア演習
症例検討 (予定)

講師 : 医療法人愛生館小林記念病院
褥瘡ケアセンター長 古田 勝経 先生

参加費 : 八尾市薬剤師会会員 1,000円 (他支部会員 1,500円、非会員 2,000円)

褥瘡学会や全国各地での講演会で立ち見ができるほどの薬剤師の先生に名古屋から来ていただけることになりました！

今回、ご講演に加えて褥瘡模型を使つての演習指導もさせていただきます。
貴重な機会ですので、皆様奮ってご参加ください！

FAX072-994-8189 (薬剤師会事務局)

八尾市薬剤師会在宅医療研修会(9月10日) 参加申込書

薬局名 _____

ご氏名 _____

ご氏名 _____

第3回

“Furuta Methods” 褥瘡ケアセミナー

講師：古田 勝経 先生

医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長

日時：2017年8月19日（土）

9:30 開場 10:00 開始～16:30 終了

会場：ビジョンセンター横浜 横浜駅西口徒歩5分

〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2-5-15

プレミア横浜西口ビル3階

参加費：13,000円（お弁当付、税込）

定員：70名（先着順）

プログラム：

セミナー1 褥瘡が治らない理由：その治療・ケア

セミナー2 創を読み解く病態評価とは

セミナー3 外用薬を効かせる薬剤の選び方・使い方

セミナー4 症例からみた外用薬と創傷被覆材の使い方

セミナー5 実践的な褥瘡の局所治療

質問タイム

主催：医療法人愛生館 小林記念病院褥瘡ケアセンター

後援：横浜市民間病院協会

参加受付

2017年

5月1日開始

申込方法

裏面のFAX用紙もしくは
「小林記念病院」ホームページより「褥瘡ケアセンター」をアクセス

* 詳細はホームページ参照

お問い合わせ先

愛生館小林記念病院

褥瘡ケアセンター

“Furuta Methods”

褥瘡ケアセミナー運営事務局

担当：岡戸 京子

〒447-8510

愛知県碧南市新川町 3-88

TEL：0566-41-0004(代)

FAX：0566-41-0182

E-mail

jokusouseminar@aise

ikan.or.jp

ホームページ

http://www.aiseikan.

or.jp/kobayashi/

古田 勝経 先生プロフィール

前・独立行政法人国立長寿医療研究センター 臨床研究推進部 高齢者薬物治療研究室室長

日本褥瘡学会 前理事、評議員、学術教育委員会委員、危機管理委員会委員

日本褥瘡学会認定褥瘡薬剤師 平成19年9月取得

日本緩和医療薬学会 評議員

慶應義塾大学非常勤講師／名城大学非常勤講師／新潟薬科大学非常勤講師

2017年 第3回“Furuta Methods”褥瘡ケアセミナー

参加申込用紙

必要事項をご記入の上、下記FAX番号でお申込ください。申込確認後「申込受領書」および「事前振込のご案内」をFAXで返送いたします。

FAX : 0566-41-0182

送信先 : 小林記念病院 褥瘡ケアセンター

申込締切 : 2017年 7月 31日(月)

フリガナ
代表者氏名

職種

職務経歴
年数 年

ご勤務先名・所属

〒 —

ご連絡先

自宅 ・ 勤務先 (どちらの住所か○をしてください)

ご連絡先電話番号

FAX番号

<必須> 正確にお書きください。

e-mailでのご連絡等に必要です。

e-mail

参加者氏名(代表者含む)

どちらかに○を

No.	フリガナ 参加者氏名	職種	職務経歴 年数	交通手段
1			年	公共交通機関 車
2			年	公共交通機関 車
3			年	公共交通機関 車

電子メールからの申込方法

- 「小林記念病院」ホームページから、「褥瘡ケアセンター」を検索。
- 「第3回“Furuta Methods”褥瘡ケアセミナー開催のお知らせ」を選択。
- 「参加申込用紙」をダウンロードして、必要事項を入力の上、下記メールまで添付してお送りください。
メールアドレス jokusouseminar@aiseikan.or.jp
- メール受信確認後、ご記載頂いたe-mail先へ「申込受領書」「事前振込のご案内」を添付送信いたします。

<参加登録に関する問い合わせ先> ご不明な事がございましたら、以下お問合せ先までご連絡ください。

事務局：愛生館 小林記念病院 褥瘡ケアセンター内

第3回“Furuta Methods”褥瘡ケアセミナー 運営事務局 担当：岡戸 京子

〒447-8510 愛知県碧南市新川町3-88

小林記念病院 褥瘡ケアセンター

TEL : 0566-41-0004 / FAX : 0566-41-0182 (受付時間 13:00~17:00 木・日曜日を除く)

会 務 報 告 2017年5月度

月日	氏名	表題	内容
5月2日	中野 豊口 篠原 河野	保険薬局打合せ会	・府薬会員増員キャンペーンの件 ・日薬学会大会について ・エニFAX送信件数 ・近大フィジカルアセスメント講習会の件 ・健康サポート薬局伝達講習会について 他
5月6日	潮田 藤倉	献血サポート	献血を終了した方へ献血サポート薬局の案内、薬局リストの配布 質問の受付け ヘモグロビン基準値に満たなかった方へのアドバイス 食生活、睡眠について確認
5月9日	豊口	お薬講演	地域包括支援センター ブランチ 社会福祉協議会
5月11日	萩原	第Ⅰ期実務実習 メデイセオ見学引率	・卸の役割について ・卸の管理薬剤師について ・南大阪ALC概要説明 ・南大阪ALC庫内見学 ・質疑応答 他 参加学生9名
5月12日	長井 乾 河野	八尾市保育所(園)保健会 第1回理事会	・役員改選 ・平成29年度事業計画案及び予算案について ・平成28年度決算に ついて ・八尾市保育所(園)保健会講演会について ・大腸菌群検査について 他
5月13日	中野 豊口 潮田 長井 酒井 小倉健 篠原 河野 乾 奥村 山下 木村 池松 南 山村	定例理事会	・府薬会員増員キャンペーンについて ・日薬学会大会について ・健康サポート薬局 伝達講習会日程について ・薬局間譲渡・譲受の件 ・保険薬局マップの更新 ・龍華コミセン祭りへの参加について ・健康展について ・春の親睦行事について ・通常総会について ・発災後の状況報告書について ・健康づくり情報推進委員会
5月20日	豊口 潮田 乾 池松 山下 妹尾	会員増員委員会	・6/11実務実習生と卒業生との意見交換会、パネラーの確認 案内状作成、配布 ・7/9従事者研修会 休日、学校、在宅委員会説明依頼 7.8.9月キャンペーン
5月21日	豊口 篠原 高松	第Ⅰ期実務実習 漢方、在宅集合研修	・在宅訪問について ・漢方全般について ・漢方処方 実際に経験した例を 踏まえて ・葛根湯づくり
5月25日	長井 中野英 乾 小西 山村 味山 山下 中家	平成29年度地域ケアケース 会議 合同定例会	・H28年度第2回地域ケア連絡協議会の報告 ・H29年度地域ケアケース会議の 方向性について ・名称の変更(校区高齢者安心センター) 意見交換 他
5月28日	中野 豊口 潮田 木村 乾 長井 篠原	第2回 健康展担当者会議	・お手伝いの人への実費弁償について確認 ・特別講演について ・薬剤師会ブース テーマ(・学生によるお薬教室・模擬薬局・健康サポート薬局) 他
5月30日	小西	第Ⅰ期実務実習 ・阿倍野防災センター引率	・実習生9名参加 ・体験ガイドツアーに参加し災害体験 ・消火器の使い方、対処法 救急処置の仕方を学習 他
5月30日	豊口 長井 乾	龍華コミセンまつり 打合せ	8月17日龍華コミセンまつり開催 薬剤師会ブースの下見、うち合わせ ①サプリメント&健康食品 ②薬物乱用防止啓発活動 ③献血

府薬八尾支部／府学校薬剤師関係

月日	氏名	表題	内容
5月27日	中野	第1回地域薬剤師会 会長協議会	・薬剤師を取り巻く諸問題について ・薬学生実務実習について ・薬局間における 医療用医薬品の譲受・譲渡について ・入会キャンペーンについて 他

連盟

月日	氏名	表題	内容